

# What's Cool



今泉 洋の  
WHAT S  
COOL  
No.31



## キッチンをちょっとおしゃれに演出 冷蔵庫の扉版「ポケモン」? Friggedoor.com

URL <http://www.friggedoor.com/>



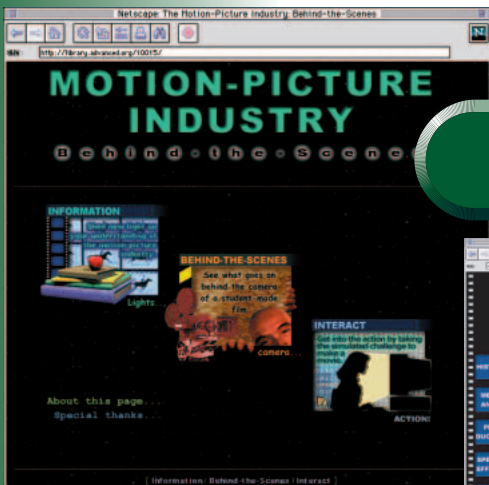
数年前に一部マーケティング関係者の中で「ちょいクリ」なる言葉がよく用いられたことがある。人間、余裕ができてくると他人とは違った装いをしたり、身の回りをアレンジしてみたくなる。しかし、まったくのオリジナルで考える人はまれで、多くは出来合いのパーツをそれぞれの趣味で集め、それにちょっと手を加えてアレンジする程度、つまり「ちょいとクリエイティブな雰囲気」を楽しむ消費が盛んになる、という話だ(そ

ういえば年賀状セットの売れる季節.....)。冷蔵庫の扉も、主婦にとっては「ちょいクリ」な場所なのかもしれない。いつのころからか知らないが、レシビヤ請求書の紙をぶら下げる実用的なマグネットにもいるんなザインのものが登場し、今や冷蔵庫の扉をキャンバス代わりに百花繚乱状態。だからというわけでもないが、「friggedoor (= 冷蔵庫の扉?)」というドメイン名を持つこのウェブ、実はマグネットのオン

ラインショッピングサイト。アンティーク風の動物から時のトピックもの、メモの書き込めるものまで、45カテゴリ、数百におよぶさまざまなピースが集められている。磁気の問題からPC周りに使うのはちょっと不安だが、デスク用にも使えそうなものが多い。値段も3ドルから10ドル程度なので、ちょいクリに興味のある人はまとめ買いするのも悪くないかも。

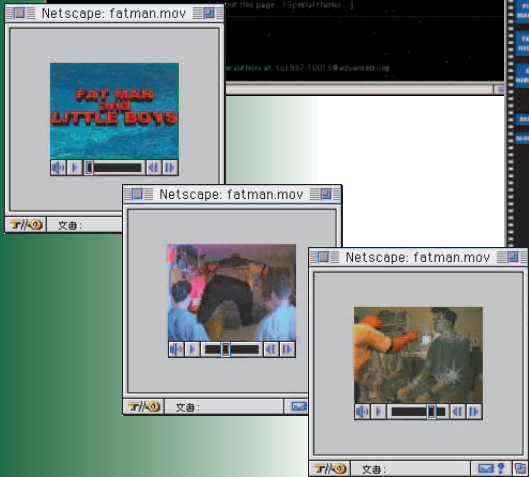
real audio  
今回紹介したサイトガイドがリアルオーディオで聞ける  
「What's Cool Radio」

URL <http://home.impress.co.jp/magazine/inetmag/radio/>



米映画産業の底力 高校生トリオが作った映画ビジネス入門  
**The Motion-Picture Industry : Behind-the-Scenes**

URL <http://library.advanced.org/10015/>



エンターテインメント系の人なら誰もが一度は映画監督を夢見るといってもいい、映画というのは総合的な表現能力と複雑なチームワークを必要とする一大事業。そんな映画ビジネスのすべてを概観しようという大それた狙いを果たしたのが、三部構成からなるこのウェブページ。

第一部では、映画の歴史から仕組み、映画制作のプロセス、それにかかわる人々やショウビジネスとしての側面までがシステムチックに解説されている。第二部ではこのウェブ制作者たちが実際に1週間かけ

て制作した映画をベースに映画制作のプロセスを解説、第三部ではユーザー自身が映画制作を行うシミュレーションプログラムが用意されているといった具合。

こういうウェブが作られること自体、表現と技術、ビジネスが三位一体となった米国映画産業の底力をうかがわせるが、それよりも驚かされるのはこのウェブページの制作者が高校生3人組というところ。最近、日本映画復活の声もあるが、このレベルに達するまでにはまだまだ……？

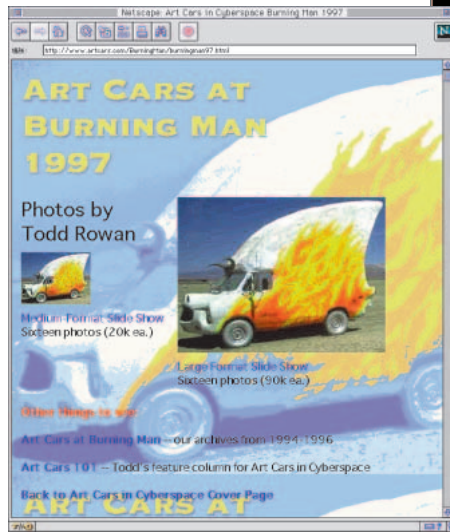
これでも街中を走れる？ 車社会アメリカならではのアートカー  
**Art Cars in Cyberspace October Cover**

URL <http://www.artcars.com/>

「アートと自動車」というと、日本の車好きとしては、なんとなくドイツの高級車にモダン絵画の有名アーティストがペインティングという図を思い浮かべてしまう(ヨーロッパ流自動車マーケティングの影響?)。しかし、ここに登場する「アートカー」はどう考えても映画「マッドマックス」が陸上版「ウォーターワールド」の世界。アートはアートでもフォークアートといったところ。ポンコツ前の車をそれぞれが好き勝手に改造してはフェスティバルに持ち込んで、

パレードするという、いかにもアメリカっぽい模様を集めたのがこのウェブページである。

未来車っぽく気取ったものあり、ゴテゴテの飾り付けあり、ポディーをダブルにしたものありと、まるで下手な子供のプラモ改造の実寸版。これに比べれば日本の電飾トラック野郎や「チバラギ」仕様の竹槍出っ歯改造車は芸の細かいこと……。それにしても、ここまでダイナミックに改造してもちゃんと街中を走行できるというのはすごい。

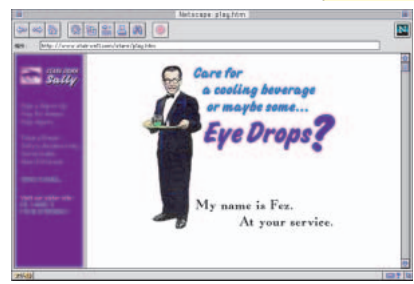
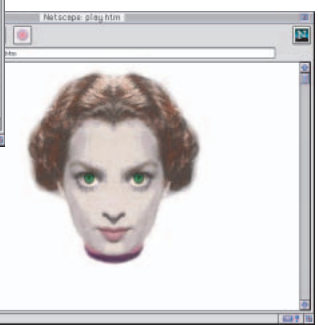




目業会社の陰謀? ウェブページで“にらめっこ”しましょ  
**A game from Stairwell Studios - It's Stare Down Sally!**  
 URL <http://www.stairwell.com/stare/>

インターネットのおかげで以前にも増してCRTを見つめることが多くなり、おかげでドライアイになる人が続出という。もはや目業はインターネットユーザーの必需品か? そんな話に火に油なのがこのページ。画面に現れる緑色の眼をしたサリーという女性と「まばたきをしない競争」をしてみよう、というのである。まずはウォームアップと

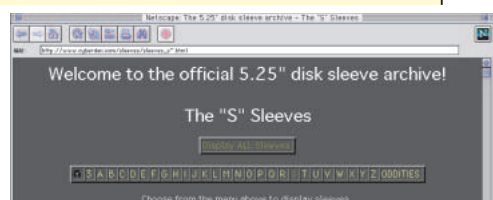
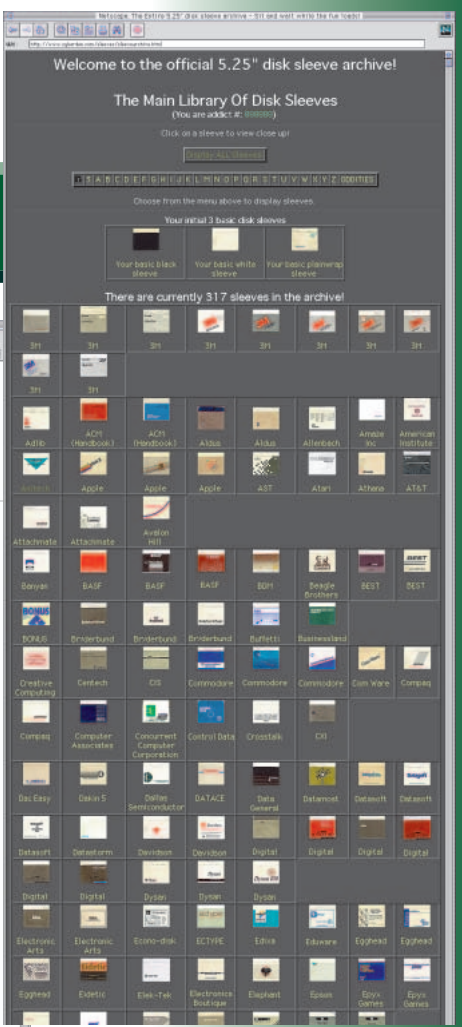
..... ということで試してみると、ここはなんとかパス。しかし本番のほうは.....、なんかマトモに考えること自体に無理があるな~。マジにやってみてもナンのことはない、要するにおバカなページである。ムキになるほどのことはないし、かえって目業が欲しくなる.....つまり、たまには眼のことも考えましょう、というページかも?



壮観317種類以上 今やレトロな5インチフロッピー・ジャケットをアーカイブ  
**The official 5.25" disk sleeve archive**  
 URL <http://www.cyberden.com/sleeves/>

こと情報関連商品に関して言えば、時代の流れとともにパッケージのデザインはそっけなくなっていく一方ではないだろうか。例えば10年前にはアートの域に達したと言われていたLPレコードジャケットのデザインも、CD全盛になってからは見る影もない。フロッピーにしても5インチから3.5インチに主流が移ってしまった今、誰もパッケージのことなど気にもかけなくなった。昔を知る人間にとっては何とも感慨無量.....というわけでできたかどうかは知らないが、ともかく今の

うちに5インチフロッピーのジャケットを集めておこうというのがこのウェブ。執筆時点では317種類のデザインが収められており、同好の士への協力を呼びかけている。実際、どのくらいの種類のフロッピーが市販されていたのかは分からないが、たかがフロッピーなのにこの種類、というデザインの賑やかさがなんとも楽しい。おまけとして「磁気・折り曲げ厳禁」といった注意書きのピクトグラムも収められていて、ビジュアルデザインのサンプルとしても面白い。



あなたの電話番号 英単語に変えます  
**What does your phone number spell?**

URL <http://www.phoneSpell.org/>

テレビのCFによく登場するフリーダイヤルの電話番号。いろいろ苦しい「読み」の語呂合わせをやっているが、アメリカの場合はちょっと事情が違う。米国の電話機では10キータンにアルファベット24文字が割り当てられている。最近では日本の携帯電話でもこの手のボタンを持っているものが多いが、これを使って覚えやすい単語を作り、宣伝するのだ。この仕組みのミソは「0を

除く9つのパッドに24文字を割り当てる＝当然いくつかのキャラクターが重複する」という点。いくつかの組み合わせの中から、覚えやすいインバクトのある単語を見つける必要があるが、これはなかなか大変な作業。そこでこんなウェブが登場する。

このページが提供するの、3桁から7桁の数字を入れると覚えやすいワードを数種類表示してくれるというごく単

純なサービス。これで面白い単語を選べば、あなたの電話番号もそれなりのインバクトを持つことになる？

残念ながら東京都内の番号は8桁に移行してしまったのですんなりとは使えないが、モノによっては8桁で面白い番号を推薦してくれる場合もある。日本ではあまり実用的とは言えないかもしれないが、仲間うちで使ってみるのは面白いかも。



悪用禁止 プライバシーを守るための匿名ウェブ接続サービス  
**ANONYMOUS SURFING**

URL <http://www.anonymizer.com/>

パーソナライズやプッシュといった機能が充実してきて、ウェブはどんどん便利になってくる。しかし一方で懸念されているのが、利用者の環境や属性などのプライベート情報の流通。例えばどの地域からアクセスしているか、どんなコンピュータとブラウザを使っているかといった情報が、ユーザーの知らない間に逐一ウェブサーバー側に記録されている。そこで登場したのが、「気

づかないうちに自分のことを相手に知られるのはまっぴらごめん」という人のために無名 (anonymous) のアカウントを有料で提供しているこのサイト。このサービスを経由すればこの誰かが分からない形でウェブを利用できるなど、ネットの中だけで別の人格を持ちたい人には好都合のサービス? 「なにもそこまでやることはない」と思う人には、いったんこのウェブ

を経由すれば、相手のサーバーに対してまったく無名を装うことができる無料サービスはどうか? また複数の匿名スレーを通して(だから配送までにちょっと時間はかかる)トレースの難しい匿名のメールを出すことができるサービスも備わっている。こちらのサービス、悪用は避けたいが一度はシャレで試してみてもよいだろう。

ますます競争が激化するウェブの世界。プロの作った企業のウェブでも至るところにバナーを張ったり、メールを出したり、より多くのユーザーを集めるのに躍起になっている昨今、素人が作ったウェブに来てもらうのは至難の技……と思う人も多いはず。そんなときに頼ってみたいのが「WebRing」という仕組み。これは同じようなカテゴリーのウェブ制作者たちが、ホー

ムページに「previous (前)」「next (次)」の2つのリンクボタンを置いて、順番にリンクを張り合う仕組み。偶然誰かのホームページにたどり着いたユーザーに、順番にウェブを回って行けるようリンクを張って、「よかつたら仲間のウェブも見てください」という具合に呼びかけるかたちで利用されており、現在登録されているリングの数は米国を中心に2万以上にのぼるとい

そうした「WebRing」の総本山とも呼べるのがこのウェブページ。カテゴリー別のインデックスやキーワード検索機能もあるので、これぞと思えるウェブを作った人は、自分の好みのウェブリングを見つけて登録してみると、いきなり外国からのアクセスが増えるかもしれない。また、ちょっと変わった素人のウェブをずらりと並べて見てみたいという人にはうってつけの入り口。



掘り出し物あり リングで広がるウェブ友達の輪  
**WebRing - The Shape of Things to Come**

URL <http://www.webring.org/>



毎日毎日違ったネタを取り上げて視聴者の関心を引こうとするマスメディア。しかしアイデアが煮詰まった時は？音楽番組なら「困ったときのビートルズ」、バラエティーなら「ラーメン紀行」、ドラマ班なら「温泉&殺人事件」というふうに関心の決まっている日本とは事情の違うアメリカ。とにかく人を呼んでしゃべらせてしまおうと考えるのが、そこに目を付けたウェブが登場。それがこの「guestfinder.com」。

トピック別に最適なゲストやその道のエキスパートへの連絡先を調査できるキーワード検索機能、さらに今月のタイムリーな番組ア

イデアなどをラインナップしている。企画用のリサーチ素材としてはちょっとチープ過ぎる気もするが、アイデアと予算のないプロデューサーには福音か？

このウェブが面白いのは、利用する側のメディアから料金を徴収するのではなく、タレントや作家、コメンテーターからの広告収入で運営している点。ネット上のジョブマーケットが盛んな米国ならではのビジネスだが、いずれインターネット上で出演交渉が盛んになると、自薦のタレントが続出して、こんなウェブが日本に登場する日も近いかもしれない。

米国版マスコミ電話帳？ 番組制作者向けゲスト&ネタDB  
**GuestFinder: The Media's Finest Resource for Guests, Experts, and Story Ideas**  
 URL <http://www.guestfinder.com/>

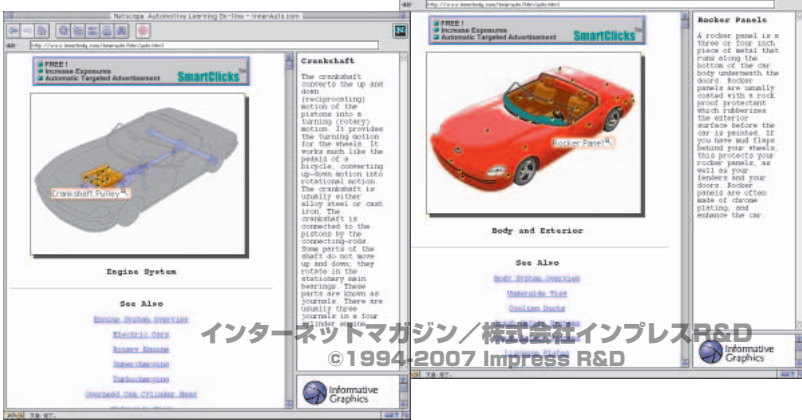
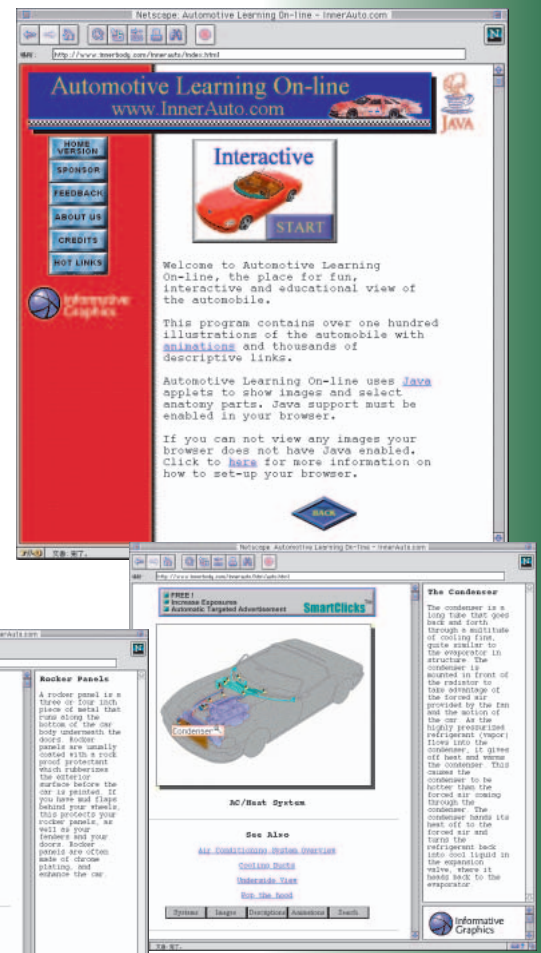
モーターショウのウェブにこそ欲しかった「How It Works」自動車版  
**Automotive Learning On-line - InnerAuto.com**  
 URL <http://www.innerbody.com/innerauto/index.html>

クルマと言えば、97年は東京モーターショウが開催される年。実際のショウ開催に合わせてウェブのほうにも各社各様に力が入っていたが、こういうパワーのかけ方があったのもいいのでは、と思われたのがこのページ。

あちらには「How It Works」というあらゆるメカニズムの仕組みを解説する本があるが、これはそのウェブ版自動車編。ボディやシャーシなど自動車各部が表示され、カーソルを移動すると名称とともにその仕組みが解説される。またブレーキから冷却装置、オイルまわり、V8エンジンの仕組み、フロントサスペンション、4速マニュアルトランスミッション、差動装置、前輪駆動装置などはJavaを使っ

たアニメーションで詳細を理解することができるという具合。

華やかなスタディーモデルで夢を語ったり、きれいなコンパニオンたちの写真で盛り上げるのもいいけれど、世界有数の自動車企業なら、こういう地道だが面白いウェブを作って公開してもいいのでは？





## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)